

「参考」果樹ハダニ類防除薬剤特性表

使用頻度の高い薬剤(気門封鎖剤を除く)については抵抗性発達により効果が低下している場合があるので注意する

IRACの作用機構分類	商品名	一般名	毒性	残効性	作用性	サビダニへの効果	ミヤコカブリダニへの影響	備考
一 (気門封鎖)	機械油乳剤等	マシン油(95%・97%)	普	○	速	※	×	抵抗性が発現しにくい ※商品によっては適用あり
	粘着くん液剤	ヒドロキシプロピルデンブレン5%	普	×	速		○	抵抗性が発現しにくい
	アカリタッチ乳剤	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル(70%)	普	×	速		○	
	エコピタ液剤	還元澱粉糖化物液剤(60%)	普	×	速		○	
6	コロマイト水和剤	ミルベメクチン水和剤(2%)	普	○	速	○	×	
10B	パロックフロアブル	エトキサゾール水和剤(10%)	普	◎	遅	○	×	
12C	オマイト水和剤	BPPS水和剤(30%)	普	◎	速		×	
13	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤(10%)	劇	○	速	○	×	
19	ダニカット乳剤20	アミトラズ乳剤(20%)	普	◎	速	○	×	
20B	カネマイトフロアブル	アセキノシル水和剤(15%)	普	◎	速	○	◎	
21A	ダニトロンフロアブル	フェンピロキシメート水和剤(5%)	普	◎	速	○	×	この2剤を輪用しない (交差抵抗性)
	サンマイト水和剤	ピリダベン水和剤(20%)	劇	◎	速	○	×	
23	ダニエモンフロアブル	スピロジクロフェン水和剤(30%)	普	◎	やや遅	○	×	この3剤を輪用しない (同一作用機構)
	ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン水和剤(30%)	普	◎	やや遅	○	×	
	モベントフロアブル	スピロテトラマト水和剤(22.4%)	普	◎	やや遅	○	×	
25A	ダニサラバフロアブル	シフルメトフェン水和剤(20%)	普	◎	やや遅		◎	この2剤を輪用しない (同一作用機構)
	スターマイトフロアブル	シエノピラフェン水和剤(30%)	普	◎	速		◎	
25B	ダニコングフロアブル	ピフルブミド水和剤(20%)	普	◎	速		◎	
25B 21A	ダブルフェースフロアブル	ピフルブミド・フェンピロキシメート水和剤(15,5%)	普	◎	速	○	×	
25A 21A	スターマイトプラスフロアブル	シエノピラフェン・ピリダベン水和剤(15,7.5%)	劇	◎	速	○	×	
UN	マイトコーネフロアブル	ビフェナゼート水和剤(20%)	普	◎	やや遅	○	◎	
UN	ダニオーテフロアブル	アシノナピル水和剤(20%)	普	◎	速		◎	銅イオンを含む剤との 近接散布を避ける

IRACの作用機構分類:IRAC(殺虫剤抵抗性対策委員会)が殺虫剤の有効成分を第一作用点によって分類した。UNは不明または未分類。番号が異なる殺虫剤をローテーションや体系使用することで、抵抗性の発達を抑制、または遅延させることができると考えられている。

残効性:◎残効3週間以上 ○残効2週間程度

作用性(効果の遅速):速 速効的(24時間以内)に作用 やや遅 やや遅効的(1～数日)に作用 遅 遅効的(数日以上)に1

ミヤコカブリダニへの影響:◎影響はほとんどない ○直接かかると影響あるが薬剤が乾けば問題ない ×影響が大きい